

2016年度ダイバーシティ推進委員会事業報告書

1. 2016年度事業報告書について

2016年度の事業の中で特筆すべきは、「男女共同参画推進委員会/推進室」を「ダイバーシティ推進委員会/推進室」へと名称変更し、活動内容についても従来の男女共同参画推進に加えて、セクシュアル・マイノリティおよび障がい者に関する施策の検討を進められるように体制変更を行ったことである。施設面では、活動拠点となる事務所を従来の2か所から早稲田キャンパス大隈会館1か所に集約し、早稲田キャンパスの授乳搾乳室を7号館の再整備に伴いリニューアルし、西早稲田キャンパス60号館に女性専用休憩室を新規に整備した。

また、全学的なダイバーシティ推進の取組みとして、2017年4月に学生部外局として開設予定の学生ダイバーシティセンターと緊密な連携を行うことを確認し、それに伴う委員会組織再編の準備を行った。

2. 2016年度の具体的事業報告

1) 女性専任教員比率の向上

女性活躍推進法への対応として、各大学院等が計画した2020年度までの5年間の女性専任教員採用人数目標に関する1年目の検証として、採用実績だけではなく、各選考における応募者に占める女性比率、公募か公募以外かの状況等、さらに踏み込んだ調査を行い、その結果を法人会議や教学会議で報告した。2016年度の任期の定めのない女性教員採用比率は20.8%で、目標値20%以上を達成できた。また、理工、人科、スポ科の3大学院長と、今後の計画実施および推進委員会との協力について、意見交換を行った。

2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

女性活躍推進法において女性管理職比率が低い現状を改善するために、「主任になる女性を増やす」ことを取組の一つに掲げ、文書による依頼や管理職者会での説明などを通して、管理職者に理解を求めたところ、全体に占める女性比率は前年度8.6%から13.3%となった。また人事課の取組として、女性が働きやすい職場環境の一層の実現を目指す、スマート・ワークライフバランス・キャンペーンを実施し、2016年10月採用予定の管理職者（既卒）募集では「女性積極採用（ポジティブ・アクション募集）」を行い採用に至った。またダイバーシティに関し、職員を対象とする下記の研修を行った。

実施日	名称	対象	参加人数
2016/6/27	職場復帰後セミナー	育休から復帰した女性専任職員	6名
2016/7/21	ダイバーシティマネジメント研修	管理職	18名
2016/12/5	ライフタイム・キャリア研修	2005年～2009年に採用された女性専任職員	17名

※「ライフタイム・キャリア研修」は内容や対象、委託先も刷新し、外部講師の講義の他、女性職員3名によるパネルディスカッションを導入し、先輩職員から働き方を考えてもらうコンテンツを増やした。

3) ダイバーシティ推進に対する教職員の意識向上

- ① 新規採用の教職員を対象とした以下の研修に、ダイバーシティ推進の内容を盛り込み、理解を深め、意識の共有化を図った。

新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2016/04/3	新任教員セミナー	早稲田キャンパス 3号館 501 教室	106 名	橋本副総長
2016/4/5	新入職員研修 (新卒・既卒)	早稲田キャンパス大隈会館会議室	18 名	篤田
2016/10/4	新入職員研修 (既卒)	早稲田キャンパス大隈会館会議室	11 名	川端

- ②教職員・学生・一般向けの公開講座や講演会、啓発セミナー等を以下のとおり開催。多くの本学構成員に、男女共同参画、ダイバーシティ、ジェンダー、ワークライフバランスなどについて学ぶ機会を提供した。また、開催報告をウェブサイトに掲出したほか、一部は、収録動画を授業支援システム Course N@vi で配信するなど、当日参加できなかった者への配慮も行った。

○シンポジウム・講演会等の開催

開催日／ 内容	演題等	対象	参加 人数	開催 形態
2016/5/20 公開講座	GEC 設置科目「WSC メンバーズ基金寄附講座『ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（基礎講座編）』 「インクルーシブ教育とダイバーシティ」（黒田一雄 教授）	学生・教職員・一般	42 名	主催
2016/6/17 公開講座	GEC 設置科目「WSC メンバーズ基金寄附講座『ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（ライフコースを考える）』 「企業における女性の活躍推進とダイバーシティ」（阿佐見綾香氏 株式会社電通）	学生・教職員・一般	33 名	主催
2016/10/28 公開講演会	「ダイバーシティと『LGBT』、セクシュアル・マイノリティをめぐる」 （藤田裕喜氏 NPO 法人レインボーアクション代表理事・事務局長）	学生・教職員・一般	140 名	主催
2016/11/29 シンポジウム	「ダイバーシティをめぐる早稲田大学の論点」 （黒田一雄教授、神尾達之教授、橋本副総長）	学生・教職員・一般	36 名	主催
主催 4 回 計 4 回		計	251 名	

4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

① 西早稲田キャンパスにあらたに女性専用休憩室を整備し、また授乳・搾乳室については主要4キャンパスとも同等の機能を持つように調整を行った。また従来のバリアフリーマップに掲載されていた情報に、子育て支援情報や「だれでもトイレ」情報を備えた「ユニバーサル・デザイン (UD) マップ」を制作し、ウェブで公開するとともに紙媒体でも配布した。

○交流事業

開催日／ 内容	演題等	対象	参加 人数	開催 形態
2016/5/26 交流会	第2回 Rikoh ティータイムシンポジウム ～ワセダで輝く・ワセダから輝く、アナタの未来～ 「ワークとライフ、自分にいちばん良いバランス」	理工系女子 学生・研究者・関係教職員	48名	主催
2016/7/8 公開講演会	デンマーク大使館後援 講演会 「なぜデンマークは世界一幸福な国になったのか～同性パートナーシップを世界で初めて認めた社会～」	学生・教職員・一般	113名	主催
2016/7/26 交流会	両立ランチ会 (早稲田) ～育児と仕事のタイム・マネジメント	専任職員・ 常勤嘱託職員	18名	主催
2016/8/4 実験教室	理工学術院主催 第29回ユニラブ 内閣府男女共同参画局「夏のリコチャレ」支援企画 「つまみ細工でお花のアクセサリを作ろう」	未来の女性 研究者 (小学 1.2年生)	100名 (限定)	協力
2016/10/7 公開講演会	立命館大学教授 津止正敏先生 「男性が介護を担うとき～仕事と介護の両立を目指すには～」	学生・教職員・一般	24名	主催
2016/10/11 交流会	両立ランチ会 (早稲田) ～男の子育てと働き方	専任職員・ 常勤嘱託職員	5名	主催
2016/11/19 交流会	稲門女性ネットワーク (TWN) 主催 自分の未来を発見しよう～OGと考える 「これが私の生きる道」～	学生	33名	協力
2017/01/17 交流会	両立ランチ会 (早稲田) ～介護との両立	全職員	7名	主催
2017/02/28 交流会	両立ランチ会 (早稲田) ～小1の壁対策	全職員	7名	主催

2017/3/9 交流会	所沢チャレンジ（トコチャレ）2016 ～共に創る所沢の男女共同参画の新しいかたち～	所沢キャンパスの女性 （教員・研究者・ 大学院生）	16名	主催
2017/03/14 交流会	両立ランチ会（早稲田）～PTA活動との関わり方	全職員	6名	主催
主催9回・協力2回 計11回		計	337名	

5) キャリア初期研究者への支援

- ① 2016年度より設置された、妊娠、育児期の研究活動の継続のために研究支援員を雇用できる「ライフイベントに係る研究支援」制度の情報について、研究推進部研究支援課・人事課と検討をおこない、現在休職中の対象者宛てに情報提供をおこなった。

「ライフイベントに係る研究支援」制度	支援対象者数
2016年度第2回（2016年7月公募）	男性 2名 女性 6名
2017年度第1回（2016年2月公募）	男性 4名 女性 12名
支援者数	24名

6) 女子学生の就職・進学支援

- ① 2015年度に新設されたWSCメンバーズ基金寄附講座「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ」を、2016年度よりクォーター科目化し、WSCメンバーズ基金寄附講座「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（基礎講義編）」（春クォーター）および「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（ライフコースを考える）」（夏クォーター）として開講した。前半で基礎を学び、その成果を踏まえて後半で卒業生の体験などを聞くことができる授業形式となった。
- ② GEC 設置の男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・ライフデザイン」「ウーマン・キャリアクリエイト講座」についても、2016年度からクォーター科目化し、継続して開講した。

○関連科目の開講・登録者数

科目名／担当教員	学期	2016年度	(前年比)
WSCメンバーズ基金寄附講座「ダイバーシティ・男女共同参画を考える（基礎講義編・ライフコースを考える）」／矢口徹也ほか	春クォーター/ 夏クォーター	25名	(△57名)
女性・しごと・ライフデザイン／矢口徹也ほか	春クォーター	37名	(△6名)
ウーマン・キャリアクリエイト講座／並木秀男ほか	秋クォーター	131名	(△55名)

- ③ 2016年11月には、学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク（TWN）・キャリアセンターが主催した、キャリア支援セミナー「自分の未来を発見しよう～OGと考える「これが私の生きる道」～」に協力した。

7) 人権・ジェンダー・労働・ダイバーシティに関わる教育・研究の推進

- ① 7月のダイバーシティ推進室への組織改組を受け、関連科目のデータベース化について新たに障がい者支援、セクシュアル・マイノリティ支援の分野を調査対象とし、2016年度秋学期科目について、キーワードによる抽出作業を行い、ウェブサイトで科目を紹介した。
- ② GECが設置する新入生向けの導入講座、Course N@vi「新入生スタートアップ講座」内「早稲田大学での様々な取り組み」の「男女共同参画」に関するコンテンツについて、2017年1月に再収録し提供した。
- ③ 授業、講演会・シンポジウム等の模様を収録し、ダイバーシティ推進室提供講座として、授業支援システム Course N@vi に配信した。

○オンデマンド授業

科目名／テーマ名／講師	2016年度受講者数
2016年度 新入生スタートアップ講座／早稲田大学での様々な取組 / 【本編】 男女共同参画	273名
〔提供講座〕 女性への大学教育の開放：早稲田大学の場合－彼女たちは彼女たちから始まった－ (2009年10月19日収録)	37名
〔提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座～ファザ－リングが社会を変える！～ (2011年10月21日収録)	20名
〔提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座第2弾 これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～ (2012年10月19日収録)	29名
〔提供講座〕 シンポジウム「大学における男女共同参画の現状と課題」 (2013年8月1日収録)	19名
〔提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座第3弾 公開講演会「大人生活」を充実させるヒ・ケ・ツ～ライフ・ビジネス・ソシヤルの3つとも楽しもう～ (2014年11月7日収録)	23名
〔提供講座〕 公開講演会「女子差別撤廃条約批准30年-国際社会に対する日本の約束-」 (2015年5月28日収録)	15名

〔提供講座〕 公開講演会「ユネスコの提唱するインクルーシブ教育とダイバーシティ」 (2015年6月30日収録)	20名
〔提供講座〕 「2015年度WSCメンバーズ基金寄附講座『ダイバーシティ・男女共同参画を考える』－はじめに－早稲田大学とダイバーシティ・男女共同参画」 (2015年4月10日収録)	52名
〔提供講座〕 「2015年度WSCメンバーズ基金寄附講座『ダイバーシティ・男女共同参画を考える』－男女共同参画を法制度から理解する」 (2015年5月15日収録)	22名
〔提供講座〕 「2015年度WSCメンバーズ基金寄附講座『ダイバーシティ・男女共同参画を考える』－グローバル化、多様性の時代に大学で学ぶこと」 (2015年7月10日収録)	21名
〔提供講座〕 公開講演会「世界一機会均等な北欧『フィンランド』より～仕事も育児もプライベートも、誰もが自分らしくあるために」 (2015年11月18日収録)	25名
〔提供講座〕 公開講演会「なぜデンマークは世界一幸福な国になったのか ～同性パートナーシップを世界で初めて認めた社会～」 (2016年7月8日収録)	51名
〔提供講座〕 公開講演会「男性が介護を担うとき～仕事と介護の両立を目指すには～」 (2016年10月7日収録)	26名
〔提供講座〕 公開講演会「ダイバーシティと『LGBT』、セクシュアル・マイノリティをめぐって」 (2016年10月28日収録)	21名
〔提供講座〕 公開シンポジウム「ダイバーシティをめぐる早稲田大学の論点」 (2016年11月29日収録)	36名

※受講者数は、年間の延べ人数

8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① 男女共同参画およびダイバーシティに関連する学内のイベント（協賛・後援等を含む）やニュースについて、ウェブサイトやニュースレターに開催報告を掲載する等学外に公開し、本学の取り組みを紹介した。
- ② ワークショップ・シンポジウム・講演会等への参加、情報収集・意見交換を次のとおり行った。
○参加講演会・シンポジウム等

開催日	主催者	演題／内容等	参加者
2016/04/26-28	APWiL	APWiL Policy Round Table on Gender Equality (香港大学)	畑・ローリー・石田
2016/7/29	私大連盟	私大連東部地区金曜会（7月例会） 「労働市場動向とダイバーシティ」	畑・藤本
2016/7/29-7/30	私大連盟	平成28年度 第1回財務・人事担当理事者会議	畑・藤本
2016/9/8	APWiL	Core Group Meeting (フィリピン大学)	石倉(国際課) ※代理参加
2016/10/8	男女共同参画学協会	第14回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム	深見
2016/10/20	内閣府男女共同参画局	第1回理工系女子応援ネットワーク会議	藤本
2016/10/20	米国大使館	国際交流基金日米センター共催講演会 「女性のリーダーシップと米国の高等教育」	畑・藤本
2016/10/23	稲門祭 2016	稲門祭 Vision 150 企画 講演会 「ワセダがつなげる LGBT と ALLY の WA!」	篤田
2016/10/26	Work with Pride	WWP2016 セミナー	篤田
2017/2/27	三井住友海上経営サポートセンター	経営セミナー「職場の多様性について、LGBTを通じて考える」	篤田
2017/3/17	筑波大学	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター講演会 「女性活躍とダイバーシティ推進に向けてーアンコンシャス・バイアスのインパクトとマネジメントー」	深見
2017/3/23	早稲田大学 WAVOC、東京都、 WOWOW	特別セミナー 「PARA-SPORTS ACADEMY in WASEDA」	川端

○他大学との意見交換等

実施日	交流先	目的	対応者	形態
2016/6/2	首都大学東京	改組の経緯やダイバーシティ推進の現状についてヒアリング調査	矢口・藤本・川端	訪問(南大沢キャンパス)
2016/5/24	芝浦工業大学	メンター制度ヒアリング調査	深見・宮田	訪問(大宮キャンパス)
2016/7/19	徳島大学	メンター制度ヒアリング調査	宮田	訪問(本キャンパス)
2017/2/10	東北大学	女性教員在籍率増加に向けた中期計画取組の制度設計検討の為、他大学の取組調査	矢口・藤本・篤田	来訪(大隈会館)

9) 長期的な展望にたつダイバーシティの推進

- ① 事業の実施と計画立案にあたり、以下のとおり、委員会・部会等を開催した。

○会議等の開催状況

会議体名	開催数	開催日・回
委員会	3回	6/10 7/11 12/12
教育研修部会	2回	9/2 11/17
制度環境部会	2回	9/2 12/21
広報調査部会	2回	5/10 10/21
ポータル部会	1回	3/15

- ② 2016年度末の事務局体制は次のとおり。
 スタッフ数：6名 (2017年3月現在)
 (内訳：管理職1、専任職員2、常勤嘱託1、非常勤嘱託1、派遣1)

10) ダイバーシティ推進に必要な各種調査の実施

- ① 他大学・学外機関からの調査等について、以下のとおり協力した。

○学外からの調査依頼等

依頼月	依頼機関	調査内容
2016/08	国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)	女性研究者研究活動支援事業に係るアンケート調査
2016/09	日本私立学校・共済事業団	平成28年度私立大学等経常費補助金(特別補助第1回調査分)に係る調査
2016/12	お茶の水女子大学	2016年度「お茶大インデックス」を用いた教育研究機関の雇用環境評価

11) ダイバーシティ推進についての進捗状況の周知

- ① ウェブサイト改修をおこない、学内外のニュース・イベント、情報提供を速やかに掲載、発信した。
- ② 2009年3月に創刊したニューズレターについて、引き続き、2016年9月に第16号、2017年3月に第17号を発行し、対象者への配布をおこなった。学生向けの広報ツールとして、新設ウェブサイトを活用、また、英語版として発信するのにふさわしい記事を選定し、ウェブに掲載した。

○ニューズレター

タイトル	発行年月	配布対象
さんかくニュースNo.16	2016/09	全ての教職員(非常勤・関係職員を含む)・希望する学生
さんかくニュースNo.17	2017/03	

- ③ 2016年10月、学内外への広報効果を高めるため、SNS (Twitter, Facebook) を新規に導入した。
- ④ 両立ランチ会のテーマに沿った「両立支援だより」を年5回発行し、参加が難しい職員へ家庭と仕事の両立について様々な情報提供を行った。
- ⑤ 各箇所が発行する広報物に、適宜、記事・話題を提供した。
- 『早稲田大学キャンパスハンドブック 2017』(学生部発行)
 - ・「ダイバーシティ推進室」
 - 『2017年度留学生ハンドブック』(留学センター発行)
 - ・21. 「授乳・搾乳室」
 - ・22. 「女性専用の交流・休憩スペース」(西早稲田キャンパス)
 - ・28. 「大学の取り組み」男女共同参画・ダイバーシティの推進
 - 『みらい設計ハンドブック 2017』(キャリアセンター発行)
 - ・必ず見つかる「成長の場所」学内プログラム一覧
(ワークライフバランス関連講座)
 - 『理工の達人 2017』(理工学術院統合事務・技術センター技術部技術企画総務課発行)
 - ・交流・休憩スペース(女性専用) / 学生・教職員用託児室
 - 『早稲田ウィークリー』2016.12.16(学生部)
 - ・学生応援宣言
 - 『CAMPUS NOW 錦秋号』2016年11月1日発行
 - ・進化する大学
「多様な個性が集う大学～『早稲田らしさのこれから』～」

以 上